

2024年3月6日

公益財団法人 新聞通信調査会

2023 年度ボーン・上田記念国際記者賞の授賞者決定

公益財団法人新聞通信調査会は6日、2023年度のボーン・上田記念国際記者賞をロシア侵攻後のウクライナを長期間にわたりルポし関係者のインタビューを重ねた産経新聞編集局外信部次長兼論説委員の遠藤良介（えんどう・りょうすけ）記者と、ウクライナのゼレンスキー大統領ら関係国首脳に単独インタビューを果たした読売新聞欧州総局長の尾関航也（おぜき・こうや）記者の2人に授与すると発表した。

選考委員会の総括講評は次の通り。

今回も11点の応募作は力作がそろっていました。選考委員会は、第1次選考で6作品に絞り、第2次選考で議論を詰め、最終的に遠藤良介さん（産経新聞外信部次長兼論説委員）の「一連のウクライナ・ロシア報道」、尾関航也さん（読売新聞欧州総局長）の「ウクライナ関連の首脳インタビュー」のお2人に2023年度のボーン・上田記念国際記者賞を授与することを選考委員のコンセンサスで決定しました。

遠藤さんは、ウクライナの現地ルポや関係国の高官インタビューを柱にした報道が「秀逸」などと高く評価されました。ウクライナは「全領土奪還へ妥協しない」との発言をタミラ・タシェワ・クリミア担当大統領代表から引き出した点も成果と称えられています。

尾関さんはウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領、フィンランドのサウリ・ニーニスト大統領、エストニアのカーヤ・カラス首相、と関係諸国の3首脳とインタビューした成果が評価されました。ウクライナ大統領は専用列車内での会見で東部戦線での「弾薬不足」も既に訴えていました。

斎藤光政・東奥日報編集委員の「『新冷戦考』青森を中心とした米軍基地の実態」も「すぐれた内容」と評価されましたが、「国際報道と言えるか」との疑問も出て、残念ながら選外となりました。

また、高久潤・朝日新聞エルサレム支局長の「アッバス議長単独会見などパレスチナ報道」がガザ通信員の現地報告も含めて、「評価されるべき」との指摘がありました。その点については今後、通信員も含めた連名での授賞を検討するこ

とになりました。

桃井裕理・日経新聞中国総局長の「習近平一強体制」については「情報が整理された教科書のような」という指摘もあった半面、「一定以上の影響を伴うスクープ」という要件に沿っていないとの反論もあり、授賞対象とはなりませんでした。

このほか、今回は推薦者から提出していただいた資料が記事だけで 40 点を越えた例や、著書を記事として計算されたものもありました。こうした問題を踏まえ、選考委としては公正な選考を期すため、「記事は 10 点まで」あるいは「著書の扱い」など提出作品に関するルールや要件を見直すことになりました。

来年 75 周年を迎えます 1950 年創設のボーン・上田記念国際記者賞のさらなる発展を目指して、みなさまのご協力をお願いいたします。

以上



遠藤記者は 1973 年、愛媛県松山市生まれの 50 歳。東京外国語大学ロシア東欧語学科卒。1999 年に産経新聞社入社。横浜総局、盛岡支局、外信部を経て 2006 年 12 月からモスクワ支局。14 年 10 月～18 年 9 月に同支局長。20 年 10 月から外信部次長兼論説委員。22 年 4 月、8 月、23 年 2 月、8 月、24 年 2 月にウクライナで現地取材。(生年月日は 1973 年 12 月 12 日)



尾関記者は 1972 年、横浜市出身の 51 歳。ニューヨーク大学ジャーナリズム学科卒。1996 年に読売新聞東京本社入社。2007 年からブリュッセル特派員、12 年から政策研究大学院大学博士課程、15 年からワシントン特派員、17 年から国際部デスク。21 年 12 月からロンドン駐在の欧州総局長(生年月日は 1972 年 10 月 22 日)

ボーン・上田記念国際記者賞は、日米協力による自主的な世界ニュース通信網の確立に献身したマイルズ・W・ボーン元 UP 通信社(後の UPI 通信社)副社長、および同氏と親交のあった上田碩三・元電通社長が 1949 年に東京湾の浦安沖で遭難したのを惜しみ、また両氏の功績を顕彰して 1950 年に設けられた。優れた国際報道を通じて国際理解の促進に顕著な貢献のあった記者個人に

贈られる。

(注 1) マイルズ・W・ボーン → Miles・W・Vaughn

(注 2) 受賞者の顔写真をご希望の場合は、chosakai@helen.ocn.ne.jp までメールを送りいただければ返信に添付します。

(※)過去の受賞者については財団のホームページ(<https://www.chosakai.gr.jp/>)に掲載しています。

◆授賞式と記念講演会

授賞式は3月29日(金)午後6時から東京・内幸町の日本記者クラブで開催します。当日、取材を希望する方は事前に当財団までお問い合わせください。受賞者講演会は3月31日(日)午後1時半から横浜の日本新聞博物館(ニュースパーク)で開催します。参加方法などは主催者の新聞博物館がホームページで近く明らかにする予定です。

◆新聞通信調査会とは 新聞社や通信社をはじめとするメディアの発展に寄与することを目的にジャーナリズムやマスコミュニケーションの調査・研究をしている公益財団法人です。同盟通信関係資料のデジタルアーカイブ、報道写真展、世論調査、シンポジウム、講演会、月刊誌『メディア展望』発行、ボーン・上田記念国際記者賞授与、出版補助、通信社ライブラリー運営などさまざまな公益事業を実施しています。

名 称 : 公益財団法人 新聞通信調査会
英 文 名 称 : Japan Press Research Institute (略称 JPRI)
設立年月日 : 1947 年 12 月 15 日
公益財団法人移行 : 2009 年 12 月 24 日
代 表 者 : 理事長 西沢豊